

平成24年6月8日

1. 出席議員

1 番	中 村	一 堯	9 番	光 武	学
2 番	稲 富	雅 和	10 番	徳 村	博 紀
3 番	勝 屋	弘 貞	11 番	福 井	正
4 番	竹 下	勇	12 番	水 頭	喜 弘
5 番	角 田	一 美	13 番	橋 爪	敏
6 番	伊 東	茂	14 番	松 尾	征 子
7 番	松 尾	勝 利	15 番	橋 川	宏 彰
8 番	松 本	末 治	16 番	中 西	裕 司

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	谷 口	秀 男
局 長 補 佐	中 尾	悦 次
管 理 係 長	西 村	正 久

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	樋	口	久	俊
副	市長	北	村	和	博
教	育長	江	島	秀	隆
総務部長兼総務課長		藤	田	洋	一郎
市民部長		迎		和	泉
産業部長		中	川		宏
建設環境部長		平	石	和	弘
会計管理者兼会計課長		中	村	博	之
企画課長兼選挙管理委員会事務局長		打	上	俊	雄
財政課長		寺	山	靖	久
市民課長		田	中	一	枝
税務課長		大	代	昌	浩
福祉事務所長		橋	村		勉
保険健康課長		栗	林	雅	彦
農林水産課長兼農業委員会事務局長		中	村	信	昭
農林水産課参事		橋	口		浩
商工観光課長		有	森	滋	樹
まちなみ建設課長		森	田		博
環境下水道課長		福	岡	俊	剛
水道課長		松	本	理	一郎
教育次長兼教育総務課長		中	島		剛
生涯学習課長兼中央公民館長		土	井	正	昭
同和対策課長兼生涯学習課参事		松	浦		勉
監査委員		植	松	治	彦

平成24年6月8日（金）議事日程

開 会・開 議（午前10時）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）
-

午前10時 開会

○議長（中西裕司君）

おはようございます。ただいまから平成24年鹿島市議会6月定例会を開会いたします。
会議に先立ちまして申し上げます。

執行部におきましては、環境負荷と消費電力の軽減、職員の公務能率の維持向上を図るために、5月1日から10月31日までの期間については、特別の場合を除いてノー上着、ノーネクタイの推奨に取り組んでおられます。議会には、先例等申し合わせ事項で議会における服装についての規定がありますので、今期定例会においては、ノーネクタイのクールビズ対応としたいと思います。

なお、上着の着用については個人の裁量に任せたいと思います。

次に、去る5月23日、東京都で開催されました第88回全国市議会議長会定期総会において、議員30年以上の松尾征子君、20年以上の私、中西裕司が表彰されました。

ただいまから表彰状を伝達いたしますので、演壇の前にお進みください。

〔表彰状伝達〕

表 彰 状

鹿島市 松 尾 征 子 殿

あなたは市議会議員として30年の長きにわたって市政の発展に尽くされその功績は特に著しいものがありますので第88回定期総会にあたり本会表彰規程によって特別表彰をいたします

平成24年5月23日

全国市議会議長会
会長 関 谷 博

〔拍手〕

○副議長（橋川宏彰君）

表 彰 状

鹿島市 中 西 裕 司 殿

あなたは市議会議員として20年の長きにわたって市政の発展に尽くされその功績は特に著しいものがありますので第88回定期総会にあたり本会表彰規程によって特別表彰をいたします

平成24年 5 月23日

全国市議会議長会

会長 関 谷 博

〔拍手〕

○議長（中西裕司君）

以上で表彰状の伝達式を終わります。

次に、江島教育長のあいさつと4月1日付で部課長級の異動がっておりますので、北村副市長より職員の御紹介をお願いいたします。

○副市長（北村和博君）

おはようございます。6月定例会の開会に先立ちまして、4月1日付で人事異動を発令いたしております、今定例会は最初の議会ということになります。それで、異動者の紹介を私のほうからさせていただきます。

江島教育長につきましては、4月の全員協議会で皆さん方に御紹介をいたしましたけど、定例会が初めてということでございますので、改めて紹介をいたすものでございます。

4月1日付で鹿島市教育長に就任いたしました江島秀隆氏でございます。

一言ごあいさつをお願いいたします。

○教育長（江島秀隆君）

皆さんおはようございます。先ほど紹介がありました教育長の江島秀隆でございます。

3月の議会におきまして皆さん方の同意をいただき、4月になりまして市長から教育委員を任命されました。次いで教育委員会において教育長を任命され、その職責の重さを非常に痛感しております。しかしながら、この教育に向かって進む鹿島をしっかりと私もつくっていきたいなと思っております。皆さん方の御支援、それから御協力をいただきながら、誠心誠意努めていく所存でございますので、どうぞよろしく願いをいたします。（拍手）

○副市長（北村和博君）

ありがとうございました。皆様方よろしく願いをいたします。

しばらくお待ちください。異動者の方、前のほうに出てきてください。

続きまして、部課長の紹介をいたします。

まず最初に、総務部長兼総務課長の藤田洋一郎でございます。（「どうぞよろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

続きまして、建設環境部長兼建設環境部調整室長の平石和弘でございます。（「よろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

次に、課長級の紹介をいたします。

企画課長兼選挙管理委員会事務局長の打上俊雄でございます。（「よろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

同和対策課長の松浦勉でございます。（「よろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

税務課長の大代昌浩でございます。（「よろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

農林水産課長兼農業委員会事務局長の中村信昭でございます。（「よろしくお願ひします」と呼ぶ者あり）

このほか、きょうは公務のため失礼をいたしておりますけど、市民課参事は有森弘茂でございます。皆様方、御指導のほどよろしくお願ひいたします。（拍手）

以上をもちまして紹介を終わります。

○議長（中西裕司君）

それでは、ただいまから本日の会議を開きます。

日程は、お手元の日程表どおりといたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西裕司君）

まず、日程第1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、4番竹下勇君、5番角田一美君、6番伊東茂君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（中西裕司君）

次に、日程第2. 会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程（案）のとおり、本日から6月22日までの15日間といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西裕司君）

御異議ないものと認めます。よって、会期は15日間と決定いたしました。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。谷口事務局長。

○議会事務局長（谷口秀男君）

諸般の報告をいたします。

まず、本日招集の6月定例会に市長から報告5件、議案9件の提出がありました。報告事項、議案番号及び議案名は、お手元に配付いたしております議案書の目次に記載のとおりで

ございます。

次に、監査委員から平成23年度2月分、3月分の出納検査結果及び平成23年度の定期監査結果に関する報告がありましたので、その写しをお手元に配付いたしております。

次に、去る3月定例会において可決になりました意見書第1号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書及び意見書第2号 不活化ポリオワクチンの早期導入を求める意見書は、3月23日付で各関係機関に送付いたしております。御了承をお願いしたいと思います。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

○議長（中西裕司君）

次に、日程第3. 議案の一括上程であります。

報告第3号から報告第7号及び議案第27号から議案第35号までの議案を一括して上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。樋口市長。

○市長（樋口久俊君）

皆さんおはようございます。まず、先ほど表彰を受けられました松尾議員、それから中西議員に対しまして、市政への功労について感謝とお祝いを申し上げたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

それでは、本日、ここに鹿島市議会平成24年6月定例会を招集し、諸案件につきまして御審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻きます最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

現在、私が市長に就任をいたしまして2年の月日が経過をしたところでございます。4年の任期をもとに考えますと、ちょうど折り返し地点となるわけでございますが、これまで「鹿島市に新しい風を吹かせたい」と考え、計画期間5年の「第5次鹿島市総合計画」を施策の中心に据えて、その実現に向かって邁進をまいりました。

その中で、未曾有の大災害となりました東日本大震災の発生や異常気象によります自然災害の多発、さらに世界的な経済変動と競争の激化など、私たちを取り巻きます情勢に大きな変化が見られるところでございます。

また、私はこの2年間、議会での議論を初め、いろいろな場面で市内外の多くの皆様から御意見や御提言をいただく機会がございましたが、それらを振り返り、今、鹿島市が何をしなければならぬか、何を求められているのか、私なりに構想をまとめたところでございます。

後半2年間の市政運営に当たりましては、そのような状況の変化にも対応しながら、中・長期的な展望を持った上で精いっぱい取り組んでいきたいという思いから、今回「鹿島市ま

ちづくり推進構想」、別名「鹿島ニューディール構想」というものをお示しすることになりました。

それでは、この「鹿島市まちづくり推進構想」の概要につきまして御説明を申し上げます。

私たちのまちは、御承知のように、2年後、すなわち平成26年に市制施行60周年を迎えることとなります。人間に例えますと還暦を迎えるということになるわけでございます。

この間、多くの先輩たちは、ふるさと鹿島の恵まれた自然環境の中で、豊かな歴史的資源を背景に、「地域における中核都市」の地位を確立すべく、努力を重ね、研さんを積んでこられました。

しかしながら、現状を見ますと、その途上にあるというよりも、かえって近隣の市町に埋没しているんじゃないだろうか、さらには差をつけられているんじゃないかとお感じになっている方々は少なくないと思われます。

全国的にはもちろん、県内でも、そして私たちのまちでも解決しなければならない多くの課題を抱えておりますが、そのような時期であればこそ、「進むべき目標」を明らかにして、市の活力を回復するために市民が一丸となって取り組むという姿勢が求められるのではないのでしょうか。そのような考え方のもとに、市民の皆様には「鹿島市まちづくり推進構想」をお示しするものでございます。

なお、例えば、その中で医療、福祉のように国や県が定めました法令の基準に従って実施をされるもの、あるいは教育、衛生のように地域の実態を踏まえて安定的に実施されるもの、さらには災害復旧のようにあらかじめ予想のつかないものなど、そういうたぐいの、いわば義務的色彩の強い対策、そういうものは原則としてこの構想に含まれてはおりませんので、これらは必要に応じ、適時的確に措置されなければならないと考えております。

この推進構想は、鹿島市として特に力を入れて対応する必要があると考えられる施策を4つの項目、1つとして「安全・安心のまちづくり」、2番目に「交通体系の整備」、3番目に「様々な施設の再整備」、4番目に「産業振興」、こういう4つの項目に整理をして、これからの方向性を掲げてありますので、その項目ごとに御説明を申し上げます。

まず、最初の柱としております「安全・安心のまちづくり」について申し上げます。

昨年の3月に発生しました東日本大震災や口蹄疫などの家畜伝染病は、市民の皆様のご記憶に残る大変な出来事であったことは改めて説明が要らないわけでございますが、その経験により、私たちの意識の中で「安全・安心」という言葉が大きな位置を占めることになりました。意識のセンターに据えられているということでございます。

このような状況を踏まえまして、1点目として、防災、防疫対策に取り組んでいかなければならないと考えております。具体的には、具体的な事例として掲げてございますのは、「地域防災計画」の見直しと、それに基づく施策の具現化、特に避難所となる可能性の高い学校を中心に、備蓄品の充実を図っていきたくと考えております。

それに加えて、防災、防疫対策の拠点施設となります「危機管理センター」、これはあくまでも仮称でございますが、そういう「危機管理センター」を整備すること、災害時の情報伝達機能の強化を図るため、デジタル無線の導入やケーブルテレビの活用を進めたいと考えております。

次に2点目は、住宅対策として、古枝地区でございます雇用促進住宅を購入して、新たに定住促進住宅としてリニューアルをして、有効に活用していくとともに、昨年から策定作業を進めております新たな「鹿島市住生活基本計画」に従いまして、市営住宅の整備や個人住宅の「リフォーム支援制度」により住環境の向上を図っていくことを考えております。

3点目は、子育て支援として、医療費の助成、保育所の充実、小児医療などの保健福祉の充実や学校の施設整備、教育支援、ふるさと教育など教育環境の充実、さらに定住促進住宅での家賃の優遇など、子育て世代への住宅支援の充実を図っていくことを考えております。

4点目は、新エネルギー対策として、鹿島市に適した小水力発電や太陽光発電を推進することを考えております。

次に、もう1つの柱でございます「交通体系の整備」について申し上げます。

まず、道路整備でございますが、道路環境の充実は、鹿島市の将来の発展において欠かすことのできない重要な都市インフラの一つでございます。特に「有明海沿岸道路」につきましては、これまでも要望活動の中で優先をさせて、関係市町と連携を蜜にしながら、国等の機関に対して要望活動を行っております。さらに、武雄北方インターへのアクセス充実のため、国道498号線の整備など主要な国・県道の整備や多良岳地区広域農道、御存じの「オレンジ海道」の活用につきましても、積極的に対応する必要があると考えております。

2点目として鉄道でございますが、JR長崎本線に関しては、約10年後に控えております九州新幹線長崎ルート開業を見据えて、利便性の維持、向上を図るために肥前鹿島駅舎の改築、あるいは駅前広場と駅周辺の整備を行うことが必要だと考えておりまして、既に一部工事が始まっていることは、皆様御承知のとおりでございます。さらに、九州新幹線長崎ルートまでのアクセス道路の整備や島原鉄道との相互乗り入れも視野に入れた観光ルートの開発も行わなければならないと考えております。

3点目の公共交通として、市内路線や市外の都市間路線バスにつきましては、求められる「市民の足」の確保のため、その維持と利活用の観点から、あらゆる可能性を模索しているところでございます。例えば、現在、実証運行を行っております市内循環バスと乗り合いタクシーにつきましては、今後のあり方を検証し、例えば、利用者の申し込みにより、その都度バスを運行させるという形式のディマンド交通機関というようなものを導入すると、こういう検討をする必要もあるのかと考えております。

次に、3つ目の柱でございます「様々な施設の再整備」について申し上げます。

現在、市庁舎や市民会館を初め、鹿島市の主要な公的施設や建物が建築されて以来、30年

から40年という時間が経過をし、ごらんになりますとわかりますように、老朽化や機能面、耐震性などの問題が出てきております。

そこで、鹿島市に立地をしております主な公的施設の「役割と機能」を見直して、それぞれ個々の施設としての今日的整備を行いながら、全体として連携のとれた有機的運用ができることを念頭に置いて、これらの施設の再配置を行い、「鹿島市シビックセンター再整備構想」としてまとめているものでございます。

この構想の中で、当面優先的に対応しなければならない施設としましては、市が管理をしております「鹿島市庁舎」「市民会館」「障害学習センター（エイブル）」「福祉会館」のほか、市が管理をしていないものとして「佐賀県鹿島総合庁舎」「鹿島警察署」「JR肥前鹿島駅」があると考えておまして、中心市街地での公的施設の再整備とあわせて、それぞれの状況に応じて関係機関と連携して、計画的に改修や改築を行うことを考えております。

今回、この整備構想をお示しいたしましたのは、約10年後に控える「新幹線長崎ルートの開通後のまちづくり」や、東日本大震災を初め、近年多発するさまざまな災害の教訓を踏まえ、「安全・安心のまちづくり」の推進、そして第5次鹿島市総合計画に掲げてございます「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」の実現を図ることにより、今後、都市機能を強化しながら、県南西部の中核都市として鹿島市の復活を目指していくためには、先送りのできないタイミングにあると考えたからであります。

今後は、市民の皆様や議員の皆さんの御提言、御意見を聞きながら、総合的な検討を経た上で、具体的な計画を定め、着実に再整備を進めていかなければならないと考えているところでございます。

なお、この3番目の柱の中でシビックセンター再整備構想は、計画期間を10年とし、総事業費を約70億円と見込んでおります。

最後に、4つ目の柱でございます「産業振興」について申し上げます。

まず、市民の生活基盤を確保し、定住を促進するため、就業の場の拡大を図ってまいります。具体的には、鹿島市の基幹産業であります農林水産業の振興はもとより、鹿島の特産品でございます米、ミカン、ノリの高付加価値化など、第2次産業、第3次産業との連携を推進し、鹿島市の地場企業の振興を図っていくことが必要であると考えております。

これらのことにより、地域の拠点都市としての求心力のある商工業の活性化を図り、また鹿島に根づいていただける企業の誘致活動を推進していったら、就業の場の拡大を目指そうとしているものでございます。

次に、2点目の交流人口の拡大でございます。

鹿島市には、御承知のとおり、旭ヶ岡公園を中心とした城下町の家並み、肥前浜宿の歴史的な町並み、祐徳稲荷神社の一带、田澤義鋪先生を初めとする偉大な多くの先人の皆さん、県内で最多を誇っております伝承芸能など数多くの歴史・文化資源や多良岳と有明海に代表

される豊かな自然環境などの地域資源が数多く残っております。この地域資源を効果的に生かすのは、私たちの使命の一つであると思っております。私は就任当初から「歴史・伝統は先祖の埋蔵金」と申し上げてまいりました。埋もれております、あるいはまだ十分力を出し切っていないこれらの資産、いわゆる先祖が残したありがたい「埋蔵金」を掘り起こして地域振興に生かしていくことが何より重要なことだと考えております。

加えまして、これまで継続をしてきた「鹿島ガタリンピック」や「鹿島おどり」などのイベントは、さらに充実を図るとともに、ことし、もうしばらくして展開をされます「伊能忠敬来鹿200年」、ほかにも「碁聖寛蓮の碁式策定1,100年」、九州で初めてと言われております「旭ヶ岡公園の夜桜電飾100年」など、間もなく参ります節目の年に注目し、市外に対して情報発信をしていくことが交流人口の拡大につながるものと考えております。

さらに、「公認鹿島祐徳ロードレース」や「クロカンフェスタ」などのスポーツイベントの振興、特に昨年からは関東の大学の長距離陸上選手の合宿を鹿島市に誘致してまいりましたが、これからはサッカーや野球などのほかのスポーツ種目につきましても、積極的な誘致活動を展開してまいりたいと考えております。

また、平成26年、再来年でございますが、九州・沖縄「道の駅」連絡会の総会という催しが鹿島市で開催される予定でございます。

このようにスポーツに限らず、県大会や九州大会レベルの各種大会などについても誘致を図ってまいりますが、宿泊施設の確保という課題を抱えているということは御承知のとおりでございます。これからはスポーツ合宿やいろいろな大会などのニーズに合った宿泊施設の確保や、こういう施設にすぐれておられます嬉野市、太良町など近隣市町との連携も念頭に置いておく必要があると考えております。

さらに、「早稲田大学入江正之研究室」の鹿島分室が、この夏にも中心市街地に開設をされる予定となっております。このような大学の分室や研究機関なども誘致を行い、交流人口の拡大に備えてまいることを考えております。

以上、「鹿島市まちづくり推進構想」について申し上げたところでございます。

この時期にあえてこれを皆様方に御提案をいたしますのは、これをめぐって市民の皆さんやさまざまな機関との活発な議論がなされて、鹿島市が進むべき方向性について議論を深めていただくことで、まちづくりに対する意識がさらに集中をして、さまざまな連携といろいろなすぐれたアイデアが新たに生まれてくることを期待しているからでございます。一方では、もちろんそのような意識のまとまりが、先ほどお話をしましたように、手おくれにならないことを願っているということでもございます。

どうか市民の皆さんや議会の皆様におかれましては、このような趣旨をお酌み取りいただき、御理解、御協力を賜りますようお願いを申し上げます次第でございます。

最後に、昨年から実施をいたしております住宅改修工事補助事業について申し上げます。

地域経済の活性化と住まいの安心・安全の確保、それから質の向上を目的としまして、昨年度よりスタートをいたしました「鹿島市住宅改修工事補助事業」の今年度の状況でございますが、4月11日から受け付けを開始して、約1週間でその予算のほとんどを消化してしまうということで、おかげさまで好評でございました。

現在は受け付けを終了いたしておりますが、この制度を利用してリフォームを希望される市民の皆様の声が、さらに数多くもう少し続けてほしいという声が寄せられているということでございまして、こういう状況を受けまして、市といたしましても本定例会におきまして、県助成金と併用できるという市助成金の増額をそれぞれ計上いたしております。

また、佐賀県においても、そういう状況を踏まえてでございましょう。県助成金の市町への配分を増額するという方向で現在検討がなされていると承知しております。

詳しくは後ほど御説明をいたさせますが、この制度を継続させることで、さらなる地域経済の活性化と住環境の向上を図ってまいりたいと考えております。

以上、6月定例会の開会に当たりまして、鹿島市を取り巻きます最近の情勢、今後の主要な施策について申し上げます。今後とも議会の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは、提案をいたしております案件につきまして、その概要を御説明申し上げます。

議案は、報告5件、専決処分3件、条例改正3件、補正予算2件など計14件でございます。

まず、平成23年度予算の繰越事業関係の報告について申し上げます。

報告第3号 平成23年度鹿島市一般会計継続費繰越計算書につきましては、平成23年度から2カ年の継続事業として1事業を取り組んでおりますが、平成23年度の年割額に残額が生じたため、平成24年度に繰り越して使用することとし、また、報告第4号 平成23年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書、報告第5号 平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書、報告第6号 平成23年度鹿島市水道事業会計予算繰越計算書、以上3件につきましては、平成23年度の予算執行段階で諸般の事情によりまして予算の一部を平成24年度に繰り越して使用することといたしましたので、それぞれの関係法令の規定に基づき報告をいたすものでございます。

次に、報告第7号 平成24年度鹿島市土地開発公社事業計画について申し上げます。

鹿島市土地開発公社の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成24年度事業計画書の写しを提出し、報告いたすものでございます。

次に、議案第27号 専決処分事項、これは鹿島市税条例の一部を改正する条例ですが、その承認について申し上げます。

3月31日に地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律が公布され、4月1日から施行されたことに伴い、固定資産税の評価がえに関する所要の改正を行ったものでございます。

次に、議案第28号 専決処分事項、これは平成23年度鹿島市一般会計補正予算（第8号）ですが、その承認について申し上げます。

3月31日付で専決処分いたしました一般会計補正予算（第8号）は、予算の総額に231,769千円を追加し、補正後の総額を13,094,168千円といたしましたものでございます。

歳入では、地方譲与税、配当割交付金、地方交付税などの主要一般財源及び市債発行の確定額の計上を行っております。また、学校施設環境改善交付金において交付額が増額となりましたので、国庫補助金の増額計上を行っております。

これに伴い、歳出では、各事業の財源調整を行うとともに、今後の財政需要に備えるため、財政調整基金へ1億円、公共施設建設基金へ140,000千円の積み立てを行い、今後とも計画的で健全な財政運営に努めるものでございます。

次に、議案第29号 専決処分事項、これは訴訟上の和解ですが、その承認について申し上げます。

損害賠償請求事件に関する和解及び損害賠償の額につきまして、4月11日付で専決処分いたしましたものでございます。

次に、提案をいたしております条例案でございますが、議案第30号 鹿島市印鑑条例及び鹿島市手数料条例の一部を改正する条例について申し上げます。

これは外国人登録法が廃止されることなどに伴い、所要の条文を整備いたすものでございます。

次に、議案第31号 鹿島市税条例等の一部を改正する条例について申し上げます。

主な内容といたしましては、地方税法の一部改正などに伴いまして、たばこ税や退職所得に係る市民税の所得割、東日本大震災に係る特例などについて所要の改正をいたすものでございます。

次に、議案第32号 鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について申し上げます。

これは東日本大震災に係る特例規定を設けるために改正をいたすものでございます。

次に、補正予算でございますが、議案第33号 平成24年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に40,773千円を追加し、補正後の総額を12,413,773千円といたすものでございます。

歳入につきましては、事業の決定、追加などに伴います県支出金、基金繰入金などを増額計上いたしております。

歳出のうち、主な事業としましては、総務費では中心市街地再開発事業、コミュニティ助成事業を新規に計上いたしております。また、土木費では単独下水路事業、鹿島市緊急経済対策住宅改修事業を計上し、教育費では自治公民館建設補助事業を計上いたしております。

さらには、ことし3月に鹿島市保険鍼灸師会様から市内中学校におけるスポーツ振興のため御寄附をいただいておりますので、この御寄附の趣旨に沿い有効に活用させていただくことといたしております。

次に、議案第34号 平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

汚泥処理棟施設の建設に伴いまして、平成25年度から平成27年度までの期間において、債務負担行為の補正をいたすものでございます。

最後に、議案第35号 佐賀県市町総合事務組合理約の変更に係る協議について申し上げます。

地方自治法第286条第1項の規定により、佐賀県市町総合事務組合から規約を変更したい旨の協議がありましたので、同法第290条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

以上、提案をいたしました議案の概要について説明をいたしました。詳細につきましては、御審議の際、担当の部長、または課長が御説明を申し上げますので、よろしく御審議をいただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

○議長（中西裕司君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明9日から12日までの4日間は休会とし、次の会議は6月13日午前10時から開き、議案審議を行います。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時47分 散会